

天下茶屋駅(地下鉄堺筋線)①

秀吉と利休ゆかりの天下茶屋を歩く

天下茶屋駅(南海本線・高野線) 聖天坂駅(阪堺電車阪堺線) 北島駅(阪堺電車上町線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No.089

地下鉄天下茶屋駅

① 阿倍寺塔心柱礎石

阿倍寺は阿倍氏の氏寺と考えられています。一族には中臣鎌足らと大化の改新(645年)を推進した孝徳朝の左大臣・阿倍倉梯麻呂(阿倍内麻呂)がいました。塔心柱礎石は阿倍野区松崎町にありましたが、現在はここに保存され、大阪府の文化財考古資料に指定されています。



② 是齋屋跡(天下茶屋公園)

是齋屋は寛永年間(1624~44)に、近江国の津田宗右衛門が住吉街道に面した当地へ来て「和中散」という薬を商ったのが起こりです。街道の旅人たちで大いに繁盛したといわれています。

③ 安養寺

元禄2年(1689)、貞誉清薫尼の創建です。明治20年(1887)の失火と昭和20年(1945)の戦災で2度焼失し、現在の寺は昭和34年(1959)再建時のものです。境内には『心中天の網島』の紙治の妻・おさん、猪名川弥右衛門と佐藤魚丸の墓があります。

④ 天神森天満宮

室町末期の茶匠・武野紹鷗(千利休の師匠)が当地の森林に湧く泉水を愛し、歳月を送った所です。北野天満宮の分霊を勧請して菅原道真公を祀っています。

社殿東側に子安石という霊石があって、安産のご利益があると参拝者で賑わったので子安天満宮ともいわれました。秀吉も淀君が懐妊した際に住吉大社を参拝し、その途中で立ち寄って安産祈願したといえます。

⑤ 天下茶屋跡

秀吉が住吉、堺への往来の際、ここの茶店で休息、茶の湯を楽しんだことから、この茶店を天下茶屋と呼ぶようになりました。その由来を示す建物(芽木家)は戦災で焼失し、現在は天下茶屋跡として、くすのきの大樹と土蔵、石像だけが残っています。昭和62年(1987)に現在のものに修復されました。



⑥ 阿倍野神社

延元3年(1338)、後醍醐天皇に仕えた北畠顕家が軍旗「風林火山」を立てて、足利尊氏軍の高師直と激しく戦った古戦場跡です。明治15年(1882)に創建され、同23年(1890)、別格官幣社に列せられました。文武両道に優れた顕家が、最後の出陣にあたって天皇に届けた上奏文は、政治を憂え、国の平和と民、百姓の幸せを望む内容で高く評価され、後年、父の親房が『神皇正統記』を書ききっかけになったといわれています。

⑦ 岸の姫松

かつて紀州街道沿いは白砂青松の景勝地でした。住吉高校グラウンドに沿って残された松は、その名残で「岸の姫松(五本松)」と呼ばれています。これは江戸時代後期の『住吉名勝図会』(寛政7年(1795)刊)にも描かれて、浪華名物でした。

阪堺北島駅

